



●発行所 秋田県北秋田郡鷹巣町役場
 ☎(01866) 2-1111
 ●編集 総務課秘書係
 ●発行部数 6,700部
 ●毎月1日・15日発行
 ●頒価10円 ●郵便番号018-33
 ●印刷所 (株)秋北新聞社

No.228・46・12・1



冬囲いをする姿があちこちにみられるようになり、とうとう12月になってしまいました。

『月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり（奥の細道）』といった芭蕉の気持ちがわかるような気がします。なにか「あっという間の年の暮れ」といった感じです。

生涯教育について
 私の提言



七日市保育園長
 佐藤 忠雄

生涯教育の中で最近学制の改革論と共に幼児の問題が論議されて居ります。
 この乳幼児の教育については、児童の福祉に生きる私共にとっても大きな関心事です。

所が福祉と教育の関連については中央に於いても未だ見解は対立したままとなつて居り、ややもすると福祉と教育は全く別のものとして方向づけられようとしています。次代を担う子供達の為に今重大な禍ちを犯そうとしていることを反省したいものです。

多くの可能性を秘めた子供達の個性を尊重し、その逞しい創造力を適切に伸ばしながら豊かな人間性の育成を図ることこそ真の乳幼児の教育と信じ、知育偏重に陥らぬ福祉と教育の一元化を期待するものです。
 その為にもその処遇に当っては、公私の格差を無くすなど、すべての乳幼児が平等な保育（保護と教育）を受けられるよう環境、設備、職員の整備・充足を怠ぐ必要があると思います。



▲誕生間近い東又、西又部落の新天地

東又・西又・部落ぐるみ移転

集落再編成条例適用第一号

町の「集落再編成促進条例」第一号の適用を受け、集団移転の準備を進めていました東又、西又部落の十戸は、今月中に全戸が新天地に移転、新しい生活を始めます。

住み慣れた二百余年にお別れ

東又、西又部落は国道七号

線の糠沢から北へ九キロの奥地。いまからおよそ二百余年前に岩谷部落から分家、資源豊富な木炭生産を主に山林あいての生活をしてきました。しかし最近では山仕事や製炭の仕事も少なくなり、それに農業収入だけでは赤字のため働ける人は出かせぎに収入を求めています。

冬季間は、雪にすっぽり埋まった部落に老人と子どもだけの世帯が多く、ときには豪雪による交通不能などで病人の心配など心細い毎日でした。また若い人は部落をでてい

き、ますます過疎化していく部落の将来を考え、二百余年住みなれた村の歴史を閉じたのです。

新天地を糠沢に求む

新天地は、国道七号線から北へ百メートル離れた糠沢地内に、共同で四十八アールの土地を取得造成し、十戸が一団地に住宅を建設しました。

移転した武藤勝二、郎さんらは、新天地での生活と、米春からの通勤農業に意欲を燃やしています。

移転したかたがた。

▼東又Ⅱ武藤製一、武藤勝二、郎、武藤元助、武藤民雄、佐藤嘉津男、佐藤国男、藤井彦治郎

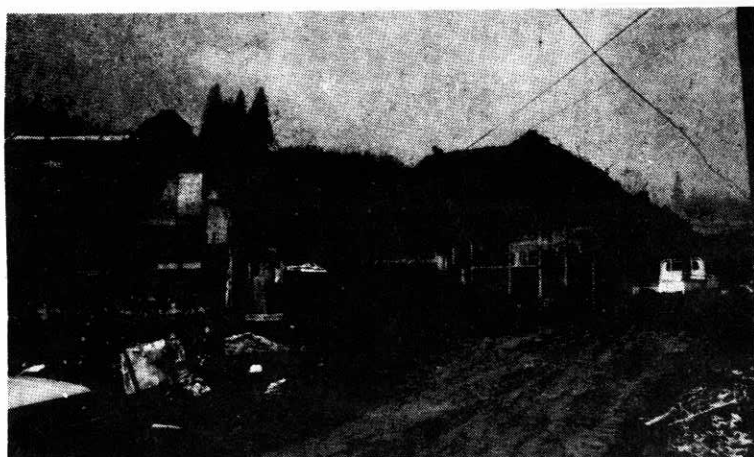
▼西又Ⅱ武藤与留男、武藤由蔵、佐藤正夫。

集落再編成促進条例

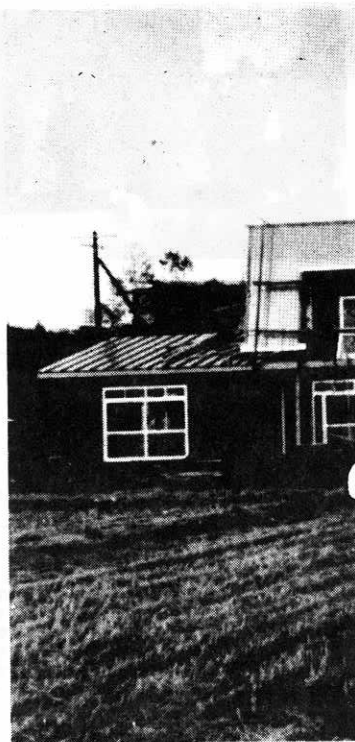
町では、過疎化の激しいへき地部落を移転し、均衡ある福祉の向上を計るため、ことしの四月「集落再編成促進条例」を制定。該当部落と集落移転の話し合いをすすめています。この条例は、昭和四十八年三月いっばいの時限条例です。一戸当たり、六十万円を補助するほか、年三分七厘償還の建設資金百万円の貸付けがあります。



魚することになりました。

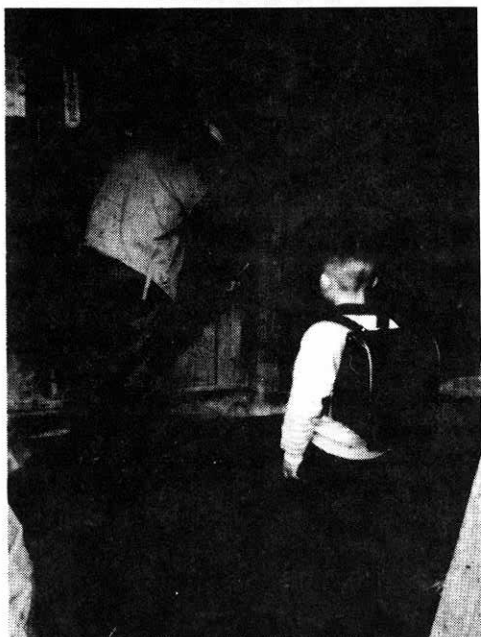


▲解体が始まった東又部落
200余年の歴史が刻みこまれ
た住宅を部落民総出で解体



◀戸締り＝

来春からの通勤農耕休憩所や
農機具の格納庫に、各部落に
1戸のこされます。



▲岩谷分校にサヨナラ＝

分校児童13人の内、今回の移転で6人が本校の綴子小



▲移転報告に墓参り

郵便物標準送達日数 東京・札幌は 二、三日で

鷹巣郵便局からの郵便物標準送達所要日数が、このほど発表になりました。

対象となるのは、郵便番号が記載されている普通の大きな手紙・ミニレター・ハガキの郵便物で、配達になるまでの標準となっております。

郵便物の窓口には午後四時まで、ポストに表示してある午後四時以前の取集時刻までに差し出された所要日数で、差し出し当日は含んでおります。

せん。またそれぞれのあて地の中心部を基準としたことと、差し出したまたは配達の日曜日にあたるもの、一時に多量に差し出されたときは、さらに一日程度要することがあります。

鷹巣郵便局から主要地までの所要日数は次のとおりとなっております。

▼一日配達区域 秋田・大館 能代・本荘の各市。田代・二ツ井と阿仁部各町村。



坊山校舎 お別れ文化祭

本年度限りで姿を消すことになった、南小学校坊山校舎最後の学習発表会が11月12日、同校舎で行なわれました。教室いっぱいに展示された作品。元気いっぱいの芸能発表に、父兄や来賓から盛大な拍手が贈られていました。

▼一日・二日配達区域 横手・湯沢・大曲・男鹿の各市。花輪・比内・十和田の各町。県外では、青森・弘前・盛岡・函館の各市。

▼二日・三日配達区域 東京・横浜・宇都宮・新潟・長野・大阪・京都・札幌の各都市。▼三日・四日配達区域 名古屋・広島・神岡・熊本の各市となっております。

年末特別融資

秋田県信用保証協会では、年末に必要な運転資金の融資を一企業につき（法人・個人とも）五百万円以内。一組合につき二千五百万円を限度に貸付けすることになりました。取扱い期間は、十二月二十五日までとなっておりますので、希望者は商工会事務局に申し込みください。

交通情報

路面凍結に注意

鷹巣警察署では、激増する交通事故に対処するため、毎日署員の半数を動員、強力な交通指導と取締りを行なっていますが、とくに次の諸点に注意するよう呼びかけています。

- ▼路面が凍結し滑走事故が多発するので速度をダウンする。
- ▼酒酔運転の追放。
- ▼運転者はたがいにゆずり合い、安全運転に努める。
- ▼歩行者の道路横断は、必ず横断歩道を通る。

▼車の直前・直後の横断は絶対にしない。

▼防寒衣料で動作がにぶくなっているので安全確認をよくする。

郵便局だより

年賀状は15日から受付
郵便番号を忘れずに

▽年賀状は十二月十五日から受け付けます。おそくとも十二月二十二日までにポストに入れて下さい。

▽年賀状には必ず郵便番号を。郵便局では番号によって区分するので、郵便番号は正確に書いて下さい。間違ったり、書体がまづいと届かなかったり、おそくなりません。

▽年賀状を迷い子にしないために

あて名が正確に書かれていないため迷子になった郵便は実に四万通もあります。団地あたりは、むね、室番号を忘れずに。友だちどうしてやりとりする年賀状には、必ず父兄の名前を忘れないように。▽年賀ハガキは「市内」県内「その他」に区別し、それぞれ束ねてお出し下さい。

▽小包は十二月十五日までに、小包にも郵便番号を忘れずに、包装はしっかりと、途中でこわれないよう厳重にひもをかけてください。

たばこは町内で
買います

予防接種

インフルエンザ

満3才以上の希望者に行ないます。

一回目は十二月十四と十五の両日。二回目は十二月二十一と二十二の両日。

時間は、いずれも午後二時三十分から午後三時まで、鷹巣町公民館で行ないます。

生ワクチン

ことしの二月一日から七月三十一日までに生れた赤ちゃんに、検診と健康相談をあわせて行ないます。

日程と対象地区・接種場所は次のとおりです。

▽十二月六日 綴子公民館

▽七日 坊沢・七座（坊沢公民館）

▽八日 沢口（近藤医院）

▽九日 七日市（旧診療所）

▽十日 鷹巣・栄（鷹巣町公民館）

時間は、鷹巣町公民館が午後一時三十分から午後三時まで、ほかは午後一時三十分から午後二時三十分まで行ないます。

商品の苦情は 消費相談所へ

商品をお買い求めになるときや、お買い求めになったあとでの商品の品質、サービスについての苦情相談は、お気軽に役場商工観光課内消費生

活相談所にご相談ください。相談は電話でも受け付けております。電話二局一一一（内線二四八番）

慶弔だより

11月1日～11月15日

誕生おめでとうございます

藤田安希 要三長女 住吉町
堀部晴彦 亮一男 根木屋敷
畠山博美 栄一長男 栄孝
長崎正博 政蔵三男 坊沢
三浦順一 ゆり子長男 小森
高腰 貴 光雄二男 品類
成田 弘 辰郎長男 坊沢
川口文弘 留蔵長男 新旭町
津谷美香子 庄一郎長女 坊沢
高橋美香子 隆司長女 綴子

二人の前途を祝福します

津谷 友昭 坊沢
三沢 政子 新田中
小塚 京八 堂ヶ登
菅原 紀子 森吉町
高橋 利美 綴子
浅利 京子 田代町

おくやみ申しあげます

佐藤チル(77) 綴子
桜田 勇(54) 末広町
畠山留蔵(47) 脇神
畠山慶蔵(72) 脇神
折原トミ(85) 南鷹巣
三沢松太郎(74) 七日市
岩本仁吉(76) 大堤
佐々木秀二(54) 坊沢
佐藤治助(58) 大堤
三浦竹之助(59) 掛泥